

様式第 3

会 議 録

会 議 名	令和 2 年度 第 1 回野田市消防委員会
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	1 消防体制について（報告） 2 消防団の現状と課題について 3 消防組織検討会委員の一部変更について
日 時	令和 2 年 8 月 1 8 日（火） 午後 6 時 0 0 分から午後 7 時 5 0 分まで
場 所	市役所高層棟 8 階 大会議室
出席者氏名	委 員 長 隈本邦彦 副委員長 関根和弘 委 員 染谷賢一、逆井健一、本田尚吾、深井芳人、 小張力、秋山咲智子、横川栄子、石原和子、 古谷道雄、安田守、菅野透、市川浩保、 斉藤和実 事 務 局 鈴木有（市長）、太田義則（次長兼消防署長）、 宮田明（参事兼総務課長）、染谷伸一（予防課 長）、園田誠一（警防課長）、内藤浩幸（総務 課長補佐）、秋山健治（総務課庶務係長）、野 本恵一（総務課主査）、田村雄一（総務課庶務 係主任主事）、藤井正則（警防課救急救助係長） （以下消防組織検討会より 5 名）佐塚和昭、 片野剛、竹之内義和、川田晋司、井上淳一
欠席委員氏名	無し
傍 聴 者	無し
議 事	第 1 回野田市消防委員会の会議結果（概要）は、次の とおりである。
消防本部総務課長補佐	令和 2 年 8 月 1 8 日午後 6 時 0 0 分、開会を宣言 し、会議の成立について報告した。

消防本部総務課長補佐	<p>会議の公開及び傍聴並びに会議録及び会議資料の公開について説明した。会議録作成のため録音機を使用することについて了解を得た。</p> <p>市長の挨拶を求める。</p> <p>〈挨拶〉</p>
市長	
消防本部総務課長補佐	<p>市長は公務の都合によりここで退席する旨説明。</p> <p>〈市長退席〉</p>
消防本部総務課長補佐	<p>会議は、野田市消防委員会条例第6条第1項により、「委員長が招集し、会議の議長となる」となっていることから、委員長に議長を依頼する。</p> <p>〈挨拶〉</p>
委員長	<p>報告 消防体制について</p> <p>消防体制について、事務局に説明を求める。</p> <p>〈資料に基づき消防体制について内容を説明〉</p>
消防本部総務課長	<p>質疑及び意見を求める。</p>
委員長	<p>転院搬送について。</p> <p>本来病院が責任をもって搬送する事案であるが、野田市の状況だとそうもいかないところもあるので日勤救急隊でそれを補っていく形がいいのかなど。</p> <p>もう一点、老人福祉センターから病院へ搬送する場合、急病に計上されているものであるが、転院搬送に近い案件だと思うので、該当件数について後で分かりましたら教えていただきたい。</p>
副委員長	<p>すぐに件数は出せるのものですか。</p> <p>時間が掛かります。</p> <p>では数字が分かったところで教えていただければ。</p> <p>ほかに何かありますか。</p> <p>〈意見無し〉</p>
委員長	<p>では私から、新型コロナウイルス感染症への対応で特別に国から補助が出るという話があるが、大体どれくらいの金額を頂けるのか。</p> <p>特別な装備をつけたり消毒の回数を増やしたりすることに対する手当ですか。</p>
警防課救急救助係長	<p>特別な装備や消毒に関する、除染作業等を行っている関係で、国から補助金の申請については補正と</p>

警防課救急救助係長	<p>いう形で救急隊が使用する資機材についての費用に充てられている。</p> <p>金額は1,500万円程度、過不足のないよう、感染防止衣等を購入している。</p>
委員長	<p>質問の趣旨としてはそういったところで、足りているのかということ。</p> <p>何々が足りない、資機材が不足しているなどの話をよく聞くが、野田市においては大丈夫と理解してよろしいか。</p>
警防課救急救助係長	<p>そのとおりです。</p>
委員長	<p>ほかに何かありますか。</p>
副委員長	<p>同じ質問になるが心肺停止のための人口鼻は足りているのか。</p>
警防課救急救助係長	<p>質問のありました件、緊急搬送時の心肺停止に対してチューブを肺に入れる等の作業があり感染防止対策として人口鼻という資機材を使用します。</p> <p>それについても補正費用にて早期に購入をしたため現状は足りております。</p>
委員長	<p>ほかに何かありますか。</p>
委員長	<p>&lt;意見無し&gt;</p>
委員長	<p>では次にまいります。</p> <p>議題1 消防団の現状と課題について</p>
消防本部総務課長	<p>消防団の現状と課題について、事務局に説明を求める。</p> <p>&lt;資料に基づき消防団の現状と課題について内容を説明&gt;</p>
委員長	<p>多岐にわたる問題点が指摘され、それぞれ疑問点があると思いますので、分けて議論したいと思います。</p> <p>最終的には消防団は今のままでいいのか、団の数、定員、募集の仕方等多岐にわたる問題を考えなければならぬ。</p> <p>まずは資料2ページの消防団員数の推移について質問、意見等あれば伺いたい。</p>
委員	<p>今議長から説明があったお話について考える前に、野田市の860人という定数は人口比にすると非</p>

<p>委員</p>	<p>常に多いということが分かった。 近隣市に比べてもやはり多い。 実際に野田市で災害が起きた際、この人数で足りているのか足りていないのか現状分析はされているのでしょうか。</p>
<p>委員長</p>	<p>例えば去年とか今年みたいな大雨が降った際の警戒出動の際に人が足りなかったというようなことはあったのか。という趣旨の御質問でよろしいか。</p>
<p>委員 消防本部総務課長補佐</p>	<p>はい。 昨年度の台風 19 号時の活動については消防団の協力で防災無線では聞こえない所を各分団に巡回広報にて避難を呼びかけていただいた。 今年は関宿地区でプラキープの工場火災がありました。長時間にわたる消火活動となり関宿全分団と中央方面隊からの応援をもって活動に当たり消火に至った。 マンパワーとしての不足は起こりませんでした。 以上のことから足りていると言えるのではないかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>我々課題解決に取り組む立場としてはファクトコントロール。(事実に基づいてデータで物をいうこと) 例えばコロナでも PCR をなかなかやらないとか、実態が見えない中で議論するというのは難しい。 野田市の実態として地域差はあると思うのですが、消防団の分団の在り方、どうあるべきかのグラウンドデザインが私には見えない。 具体的に言うと消防年報 42 ページに分団の構成というものがある。 中央方面隊を例に出すと 8 分団が 4 部まであり、2 部は目吹の 3 区、200 世帯弱の自治体加入。 それに対して第 9 分団。鶴奉、柳沢、金杉近辺、自治体加入は 600 から 700 世帯あるのですよ。 地域で見ると目吹の面積は非常に広いが、人数は少ないといったバラつきがある。 そういったところをどのように考えていけばいい</p>

<p>委員</p>	<p>のか疑問に思っている。</p> <p>もう一つ、議会で答弁をした自治会と分団の役割。先ほどの第 8 分団 2 部、目吹の 3 区は、単一の自治会なので連携しやすい。</p> <p>ところが第 9 分団には自治会が七つ、更に自主防災組織を持っているところと持っていないところがあるためどのように連携していくのかが非常に悩ましい。</p> <p>自治会活動をしている中でそういったことを感じている。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>たくさんの資料を頂いた中で、言いたいことがどこにあるのかという点で委員の皆様はもどかしい思いをされているのではないかと思います。</p> <p>慎重にいろいろなデータを見ながら議論することなのでしょうけれども、今の野田市の消防職員や消防団からすると本当はこうしたいと思っているというところを具体的に話していただいた方がいいのではないかと思います。</p>
<p>副委員長</p>	<p>今の意見は大切なことで、ランドデザイン、野田市はどれぐらいの規模の災害を想定してどのように活動するのかということが聞きたい。</p> <p>ピラミッドで消防職員が全国 16 万人いてその下に消防団員が 85 万人、一番下が自主防災組織として 15 万 2 千組ぐらい組織されている。</p> <p>大阪市のように消防団はいらないという判断をした場合は消防職員を増やすしか方法はない。</p> <p>仮に野田市が消防団不要となり消防職員のみで賄おうとすると、今の 5 倍ぐらいの職員数が必要になり、住民税もそれに伴い跳ね上がることになる。</p> <p>そうなると思えば誰も野田市に住もうとは思わなくなる。</p> <p>災害時のマンパワーを補うために自主防災組織の育成や適正な数の消防団員や消防職員を必要としているのか適正な人数を示さなくてはいけない。</p> <p>30 年以内に起きるとされている大地震に対し野田</p>

副委員長	<p>市の消防力でどれくらい戦えるのか示されていないと分からないですよ。</p> <p>大震災発生時に消防職員は救助にはいけない。</p> <p>火災の消火がメインの活動となりますので、地元での救助活動は自主防災組織や消防団の方々に行っていただくしかない場面がある。</p> <p>そういった事態にどうするのかをランドデザインで決めておかなければいけない。</p> <p>定義が決まっていない人数が決まっていないとなると、市がエビデンス、根拠を出さないといけない。どれぐらいの消防団員がいるのか。</p> <p>消防署については法律で決まっていますので、そうすると消防団がどれぐらいの数が必要なのかというところを考えていかなければいけない。</p> <p>自分は京都府の山科区に住んで消防団の環境を知っているが、人口 13 万 5 千人で 10 分団、13 分団であったところを再編成した結果です。</p> <p>どういった根拠で再編成したのか、小学校の数に合わせて 10 分団、1 分団当たり 20 人とした。</p> <p>小学校単位で避難場所となっておりそれを根拠として消防団の数と人数を決めて配置している。</p> <p>そういった面で消防団の存在は市のランドデザインと関係しているので、消防団側だけの意見ではなかなか決まらないのではないかと思います。</p>
委員長	<p>事務局どうですか。</p> <p>本日副市長不在のため分かる範囲で結構です。</p>
消防長	<p>ランドデザインの話について、決めるのが非常に難しいところであり、人、装備等どのように進めるのか、市長、副市長、両トップともに悩んでいるというのがまぎれもない事実です。</p> <p>委員の皆様は立場のないフリートークのような形で様々な意見を頂いた中、先ほどお話のあった、各分団毎に定数が違う、受け持つ面積が違う、世帯数が違う、一人当たりの分団員の負担が違う、こういった側面についても考えていかなければいけない。</p>

<p>消防長</p>	<p>下部組織の消防組織検討会、本日常備消防の委員は全員控えておりますが、消防団の方面隊幹部も参加していただいておりますので、真剣な議論を進めなければいけないと覚悟しているという現状の報告だけになってしまいますがそのようなところです。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>ほかに何かありますか。</p> <p>充足率 73%、4 分の 3 というところですが、素人考えですが予備役的な制度はないのか。</p> <p>昔は退団時には後任者を探してから辞めるという形で団員数は守られていた面があった。</p> <p>今の分団の情報だと在籍平均年数が短く、やめた人でも体は元気な人が多くいるのではないか、そういった人を予備役という形で登録しておいて何かあった際には御協力願うという形。</p>
<p>消防長</p>	<p>御提案については機能別消防団として、大規模災害時のときだけ OB の方々に等状況によって御協力いただく形を国も推奨しております。</p> <p>野田市にとしても、そういった声が上がっておりますので今後検討していくべきものと認識しています。</p> <p>地域差があるため役職を退いた人が、もう一度活動するとなって組織を作ってもコミュニケーションの面で縦社会であったため難しい、という話も出ている一方で、何かあったらいつでも出るから使ってほしいという声や再入団している地域もある。活動をやれるところからやっていくという方向についても検討していかなければならないと思っております。</p>
<p>委員長</p>	<p>現状再入団で対応しているという部分について、将来的には機能別分団を検討するとしても、現状何かあったらという方が地域にいる場合再入団してもらおうということで対応しているのですか。</p>
<p>消防本部総務課長補佐</p>	<p>再入団につきましては、人数が少なくなってきたためもう一度入られたという方もいます。また、分団長という上位の階級を退いた方が、団員として残留して活動を続けるといった形が実情です。</p>

<p>委員長</p>	<p>あとは皆さんがはっきりしないと思われている点では平成 16 年以降、団の数について見直しが無い、関宿と合併時のまま合理的な再配置をしていないので分団員の少ないところが出ているのではないかと。</p> <p>この問題は全体像、グランドデザインや手当についてどうするかとは別に、まず喫緊の解決すべき課題として数人しかいない団をそのまま維持していいのか。</p> <p>私としては、合併して一つ一つの団の体力を増やした方がいいのではないかと言いたいのではないかと感じている。</p> <p>そうであるならば、まずはその点について早急に解決すべき問題として一つ進め、手当額に対して市の支出額が多いことについては別途解決していけば良いのではないかと。</p> <p>資料にあるような少数の団員の分団を残すよりも団員が有機的に動けるように全体的な再編成をした方がいいのではないかと。</p> <p>現役の団員として参加されている委員の方はどう考えているのかお聞きしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>自分が方面隊長であった頃は自治会長を招集して、消防団の在り方や消防団の仕事について説明していたが、そのときから積極的な自治会と消極的な自治体、そっぽを向く自治会とがあり、地域差の面で合併して分団の人数を増やすのは難しいと思う。</p> <p>自治会によっては我々が同行して説明に伺うので、年代的にお願いできそうな人を教えてもらえないかと頼んでも、個人情報流出だと断られる。</p> <p>野田市全体の状況を把握して再編しなければいけないと思うが非常に大変な作業になると思う。</p>
<p>委員長</p> <p>委員</p> <p>副委員長</p>	<p>少ないところはまとめてしまおうという理由では進まない話ということですか。</p> <p>そうです。</p> <p>世帯数が分団ごとに違う話がありましたが、世帯数が少なく分散している所についてはまとめてしまった方がいいと思います。</p>

副委員長	<p>例えば船形の上中や目吹もかなり分散している。50年来変わっていない区割りのままなので世帯数も変わっている。</p>
委員	<p>関宿との合併時に一度話合いがもたれたはずだが、関宿地域は人口割りで分団を置いていたとのこと。</p>
委員	<p>合併から 15 年以上たっているので改めて考えていくことは必要かもしれない。</p>
委員長	<p>例えば、団員が少ないところはまずは合併してしまう、そうすることで逆に団員が減っていくと合併になってしまうという危機感で確保に取り組んでいただけではないか。</p>
委員	<p>現在の分団と定員数については先に出ましたように合併時に話合いと調整を進めた結果のもので、合併後に関宿の分団器具置場が野田の分団器具置場に比べ狭い面積で用意されていたものを、建替えと車両の配置を進めて水準を揃えたところがあります。</p> <p>平成 25 年に国が消防団を中核とした地域防災力の充実強化を打ち出したこともあり、充実強化に向けて国が補助金を出すとやっている中では定数減について踏み込むことはできなかった。</p> <p>今後の水害、震災が危惧されている中で、器具置場と車両を減らすことは難しいと考えられます。</p> <p>野田市でも 1000 年に一度の水害をシミュレーションした洪水ハザードマップの更新が行われて、そこから見ると野田市の避難人口は 9 万人以上、関宿地域に至っては 500 人以外の人はいずれも避難対象。3 万人ぐらいの人は水深 50 センチ以上になるので避難しなさいとなる。</p> <p>消防団の人たちも一度中央地域に避難してから、活動に入ることになる。</p> <p>103.55 km という広い範囲での活動になるので、器具置場や車両はそのままで、分団当たりの人数上限を現在 15 名の所を 12 名等に削減して対応するというのはどうでしょうか。</p>
委員長	<p>15 人という分団当たりの定数を削減するという提</p>

<p>委員長 委員</p>	<p>案ですね、個人的な疑問として分団を減らすと当然分団長になる人の数もへる、そのことへの反発というはあるのですか。</p> <p>&lt;意見無し&gt;</p> <p>知らないということになってしまいますよね。</p> <p>先ほど話に出ていた目吹の8分団、1から4部までである中で、分団長1人、副分団長1人、残りは部長という4人なのですが分団長をやりたいといったことで揉めることはないです。</p>
<p>委員長</p>	<p>例えば第14分団第2部は3人しかいないので第14分団としてまとめてしまった方がいいのではないかと思います、その際に分団長が減るぞと怒る人はいないということによろしいですか。</p>
<p>委員</p>	<p>14分団2部に関しては河川敷に近く人口も少ないところで、現在14分団1部と2部協力していて1部からの出向という形で対応していただいている分団です。</p>
<p>委員長</p>	<p>では、現場からの提案としては、分団当たりの定数を減らして、器具置場や機材はそのまま活用、廃止はしない方がいいという意見ですか。</p>
<p>委員</p>	<p>その方がいいと思います</p>
<p>委員長</p>	<p>その方が合理的であると。</p>
<p>副委員長</p>	<p>統廃合はしないということですか、その意味はなぜでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>今ある所は残しておかないと、統廃合により建物等なくしてしまうと後から元に戻すことはできませんよね、器具置場の建替え等進めて新しい所も多いので、備蓄倉庫等としての利用方法もある。</p>
<p>副委員長</p>	<p>30年後を見据えたグランドデザインであってほしいので私は統廃合を行った方がいいと思う。</p> <p>団長、副団長がいるところなので言いにくい所だと思いますけれども。</p> <p>市内一部住宅地も変わってきておりますので、消防署の再配置も含めて見直してほしい。</p> <p>震災があった場合受援施設が無いと災害時に集結できない。市長、副市長がいないので確認できません</p>

副委員長	<p>んが野田にはまだ受援施設がなかったですね。</p> <p>指揮命令系統をおく会議室もない。3年後、10年後ではなく30年後くらいを考えて後世の子供たちに向けてきちんとした方がいいと思います。</p> <p>我々は消えていくだけなので、その先を。</p>
委員	<p>副委員長の話はごもつともで、消防長の話も行政の立場として難しい課題を抱えているなというのは分かった。</p> <p>関係ない所で一つ教えていただきたいのですが、自分が働いていた地域ではまず幾つかの部があって、それらが集まった先に分団があった。</p> <p>野田では分団までしかない地域もあるが、どういったことなのか。</p>
委員	<p>野田市は分団が最小単位で、地域によっては複数の部で構成されています。</p>
委員	<p>分かりました。構成の考え方が違うと。自分がいたところは分団数が5分団でその下に各部がある形でした。今後の災害等見据え、自治体に合わせた形で作り直していくべきなのかなと思います。</p>
委員長	<p>論点を一度整理させていただきますと、少なくとも再編成について考えることと、人数が少ないところについては統合を、分団の定員数を削減、充足率を上げる目的ではなく、現状の人員数で防災活動に支障が出ていないのであれば削減する、そういうことをやってもいいのではないかと。</p> <p>現在活動している消防団の皆様からするとなかなかやりにくい、難しいという意見がある。</p> <p>消防委員会はそれ以外の人たちが集まっているので、決定権はないが意見としてこうした方がいいという部分は発言していただいて、議事録に残していく。</p> <p>最終的な提言はこれからまとめていきますけれども、現場の方から実現は難しいかもしれないけれど、合理的に考えていくと統廃合や再編成についての意見があつてしかるべきだと思うのですが、ほかの市民の委員の皆様はどうお考えですか。</p>

委員	<p>自治会としては自主防災組織、防災安全課の所管になるのですが自分の所では5年ほど前に作りました。</p>
委員	<p>当時市内では50%程度の組織率だった。最新の数字はどれくらいか後で分かれば。</p>
委員	<p>5年間自主防災組織の委員長として活動しており、かなり防災意識が高まってきている。</p>
委員	<p>消防へお願いして毎年1回消火器とAEDの取扱いの訓練を実施している。</p> <p>5年も経つと自治会に訓練が行きわたる。</p> <p>その他、自主防災組織立ち上げのときには資機材調達のための補助金が満額もらえるが、4年以上経つと、資機材の調達又は修理のための補助金制度で1/2補助があり、毎年訓練をすることで5万円程度の活動補助金がいただけるので、これを積み立てておき、修理のための補助金と併せて各家庭に火災報知機を設置する計画を立てた。</p> <p>自主防災組織は現場レベルでの防災意識がかなり高まっている。</p> <p>補助金制度等活用する形で防災活動を行い、消防団の活動について見直していくのも一つの方法ではないかと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>いざ災害時に地域住民を守る活動という点では、自主防災組織も同じ仕事をするわけですから、所轄の課が違うというだけで、そういう意味では消防団員になっているけれども自主防災組織にも入っている両方兼ねている方もいらっしゃるのですか。</p>
委員	<p>自治会を母体として自主防災組織を作っておりますので、自治会の消防団員の方は自動的に両方兼ねていることになります。</p>
委員長	<p>そういう意味では旧来の消防団に関しては、統廃合してもいざという時の活動について動いてくださるという方については別の形で育成できると。</p> <p>個人的に市役所の中で別の課が管理していて交わらない点については疑問に思っているのですけれど</p>

委員	<p>も、統廃合については恐れることはないのではないかという意見でよろしいですか。</p> <p>公助、共助、自助という中で消防署の方々は公助、自主防災組織は共助と自助、消防団の方々はどこに入るのかという点で見ると公助に入る所属だと思いますので、明確に分けられない部分はあるかと思いますが、自主防災組織が充実していくことで消防団活動の負担を減らせるのではないかと、統廃合とか削減などではなくバランスよく見ていく必要があるのではないかということです。</p>
委員	<p>防災安全課の方はこちらが行けば親切にいろいろ教えてくださりますが、補助金の制度については、個人的な消防の知り合いからの情報提供で知り、それで自主防災組織を作ったという経緯があります。</p> <p>そういったことから活動についての見直しを進めていったらいいのではという意見であります。</p>
委員長	<p>ほかに何かありますか。</p> <p>時間も押してきた所でございますが、網羅的にほかの団員数に対する手当の問題とか複雑すぎてこの短い時間では議論が不可能だと思います。</p> <p>諮問は頂いたのですが、前回の委員会では年額報酬が他市に比べて低いから上げた方がいいのではと思ったのですが、今回支払総額を見ると他市に比べて低い金額を出しているわけではない、報酬が低いのがモチベーションを下げている要因ではないかと思っただけなのですが予算を見ると他市よりも多く支払っているのでは短時間でこうした方がいいという答えは出せないですね。</p> <p>ただ、少なくとも御諮問いただいたので、3人、4人しかいない分団についてはどうするか、喫緊の課題についてはそれなりの合意を作って、その他のことについてはまた精査するということになるかと思っております。</p> <p>あまりに複雑すぎて、副委員長は御存じかもしれませんがどうでしょう。</p>
副委員長	<p>うまくいっている市として二つほど紹介します。</p>

副委員長	<p>その一つがだんじり祭りで有名な岸和田市消防団と私が住んでいる京都市消防団なのですけれども、断るぐらい消防団員が入ってくる。</p> <p>再編成して分団数を減らしたからというものもあるのですけれども、どちらの市も共通してお祭りがキーポイントとなっている。</p> <p>小さいころから岸和田の子供たちはだんじり祭りに参加するものだと言われている。</p> <p>京都市は祭りで山車を引くのだというプライドになっている。</p> <p>それで自治会活動をしながら育って行って自然に消防団へ入団するという流れになっている。</p> <p>ですからいきなり消防団をやりませんかといってもなかなか入ってくれる人はおらず、地域の自治会活動にひもづいていないと無理だと思う。</p> <p>昔は入ってくれていたというのはお祭りで野田の祭りに参加したりしていたから、今中央分団が人数が多く所属しているのもやはりお祭りというキーワードがあって、そこでリーダー等が育てられてという流れがあり、いきなり入ってと言われても無理だとなり、共に野田市で暮らしているという絆ができないと難しいところではないかなと思います。</p> <p>岸和田市は平成 30 年に内閣総理大臣から表彰されています。市全体として考えていかなければいけない。自治体にとって長年の課題だと思います。</p>
委員長	<p>論点として、統廃合、定員削減等含めた組織の再編が必要である。ということについて御意見があれば短くお願いします。</p>
委員長	<p>&lt;意見無し&gt;</p> <p>よろしいですか。</p> <p>報酬や手当についてもうまくいっていないということであれば、現場からそう言っていただいた方がよくて、統計の数字をいろいろ見せられたところで、手当は低いのに総額は他市より多いというよく分からない状態なので、現場サイドとしてどこがうまくいっていない、どうしたいという点を具体的に我々</p>

<p>委員長</p>	<p>に示してください。</p> <p>そうすれば我々は市民の立場から、団に携わるものとしての立場から提言できると思います。</p> <p>もう少しどうしたいという具体的な御報告を頂いて議論するという形にいたしませんか。</p> <p>取りあえず組織変更という点について、ほかの委員さんから何か意見があれば伺いたいと思います。</p>
<p>消防本部総務課長補佐</p>	<p>事務局から、私は消防組織検討会の会長でもあるのですが、本日の会議には検討会員である常備の消防職員は全員参席しております。非常備である消防団員も所属しておりますので、本日お話のあった課題を検討会にてより細かく、根底から意見を吸い上げていければなと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>よろしくお願いします。</p> <p>現場での頑張りで何とかなる問題に対しては現場で解決していけばいいのですが、現場が頑張るだけではどうしようもない、全体が動かないとどうにもならない、市長の理解がないと実現できない問題に対し我々を使ってもらいたい。</p> <p>どうしようもなく困っている具体的な意見を挙げていただければ、我々としても議論のしがいがあるところですよ。</p> <p>次にもう一点だけ、(6) 消防団員の確保について12 ページですけれども、これまで何を行ってきたかについては書かれていますが、今年は防災フェア、防災救急フェア、救命講習会、全部中止になっている。</p> <p>そういう意味ではこういうふうにやっていますという報告よりも、中止を受けてどのように行おうとしているかの報告をしていただきたいのですが。</p> <p>ふだんから行っていたがコロナで今やりにくくなっている点、現状報告の上で解決のために何か考えていることがあれば教えていただきたい。</p> <p>そうでないならば、逆にフェアが開催できない中でどうするか考えなければいけないという話になると思いますがいかがでしょうか。</p>

委員長	現実として中止になっていますよね。いつかできるようになるのですかね。
消防本部総務課長補佐	1点、取組2番目の市報2月号の団員募集のほかに、今年は11月頃に市報1ページを利用した消防団活動と募集についての記事掲載を予定しております。
消防本部総務課長補佐	団員のインタビュー等考えており調整をすすめております。
消防本部総務課長補佐	フェアについては再開について不透明であるのでまずはできることから進めていこうと考えております。
委員長	学生消防団の話は断られてしまったのですか。
消防本部総務課長補佐	はい。
副委員長	消防団長、副団長にお聞きしたいのですが、操法大会の中止について団員から何か意見は出ていますか。
	下妻市が大会自体やめてしまったという事例があり、操法が嫌だという団員も多いのではないのかなと、実際の団幹部の意見とすると。
委員	一部そういう声があると聞いてはいますが、野田市は士気が高い人が多いのでやりたいという声の方が大きいですね。
委員長	自分も委員になってから知って勉強になったのですが消防操法訓練とか大会が嫌だとかその後の飲み会が嫌だからという理由で入らない人がいると。
副委員長	今の若者は飲み会自体嫌がる人が多いですね。
委員長	残念なことですけど、組織改編や運用、運営のやり方についても近代化というか。
委員	今年は千葉県消防学校で消防団の操法大会の全国大会が予定されていたがコロナにより中止になってしまった。
	それを受けまして県大会、支部大会、市、全て中止となりました。
	早くから準備を進めていたところは何とかやりたいと言っております。
	来年も全国大会は千葉県で開催の予定となっている

委員	<p>るようで、出たいと考えている隊員は非常に士気旺盛に取り組んでいただいております。</p> <p>そういった分団は自治会との連携もスムーズで団員確保も問題なくできていたりします。</p> <p>自覚の問題もあるとは思いますが、団員だけではなく地域の人たち全体として盛り上げてもらった方が非常に大きな成果を出せるのではないかと思います。</p>
委員	<p>先ほどお話に合った岸和田のような全員が地元で回しているからこそかもしれませんけれどもね。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>時間も差し迫っておりますので議題 2 について議論していきたいと思っております。</p> <p>議題 2 消防組織検討会委員の一部変更について 消防組織検討会委員の一部変更について、事務局に説明を求める。</p>
消防総務課長	<p>〈資料に基づき消防組織検討会委員の一部変更について内容を説明〉</p>
委員長	<p>委員の入替えについて説明がありましたが、何か質問等ありますか。</p>
委員長	<p>〈質問無し〉</p> <p>これは委員会で指名することになりますので、提案のとおりのおすすめとしてよろしいでしょうか。</p>
委員長	<p>〈異議なし〉</p> <p>事務局推薦のとおりといたします。</p> <p>続いてその他について、事務局何かあればお願いします。</p>
消防総務課長	<p>本日お配りしました野田市消防委員会委員名簿について御説明いたします。委員名簿については野田市ホームページに掲載しておりますが、経歴について変更がありましたので報告します。</p> <p>関根委員が准教授から教授に、本田委員が野田市防災協会会長から理事に変更されています。</p> <p>経歴等に変更がございましたら御連絡をお願いします。</p> <p>消防年報については参考資料として配布いたします。</p>

<p>消防総務課長</p>	<p>した。</p> <p>最後に今後の開催予定につきまして、本日御意見いただいた消防団の課題について消防組織検討会にて検討させていただきます。その結果に基づき随時諮問できるものから順次諮問させていただきます。</p>
<p>委員長</p>	<p>詳細につきましては追って御連絡いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様から何かありますか。</p>
<p>消防長</p>	<p>様々な御意見ありがとうございました。</p> <p>自分は委員でありながら事務局をコントロールする立場でもあります。</p> <p>貴重な意見を検討会と併せて議論してまいります。</p> <p>市長、副市長不在でございましたがグランドデザインについても検討してまいります。</p> <p>後一点、本日経歴について変更のあった関根副委員長ですが、今年度総務省消防庁の委員会、次世代自動車事故等に対する活動に関する検討会、近年増加したハイブリットカーの事故に対してどう動くのか等を検討する委員として加わることになったので野田市消防委員会としてもいろいろな情報を頂いた上で課題について諮らせていただきたいと思いますので御報告させていただきます。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。我々の仲間が昇任というか国の委員会に所属するということは大変有り難いことなので、何か情報があれば御提供いただければと思います。</p> <p>本日は時間の関係もあってまとまり切らないところも多かったですが、現場でもう一度議論する際にこういった市民の声があるということを受け止めていただいて、グランドデザインはそう簡単に災害を想定できるものではありませんし、ここが地震のときに想定されるのは直下型地震であったり 1000年に一度の水害であったりと、最悪の事態について考えてあるというのがグランドデザインだと思いますので、こうなったときにここまでできるということ</p>

<p>委員長</p>	<p>を考えた消防になっていただきたいと思います。 是非、組織をもう一度見直していただきたい。 言いだしにくいところについては我々にパスを投 げてほしい。 よろしくをお願いします。 大変長い間御議論いただき皆さま大変ありがとう ございました。何かほかにありますか。</p>
<p>委員長</p>	<p>&lt;特になし&gt; &lt;午後7時50分、閉会を宣言した。&gt;</p>